

鉄骨造耐火構造編 吹付け硬質ウレタンフォームを用いた外壁耐火構造 設計・施工の概要

1 本認定の主なポイント

① 釘施工可能な耐火構造

強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)を釘施工とすることで、大幅な省施工が望めます。

② 目地テープなし

強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)の目地部には、目地テープが不要な耐火構造です。

- せっこうボードは強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)を必ず使用してください。

2 認定の概要

2-1 外壁1時間耐火構造 FP060NE-0475

外装材: COOL、モエンエクセラード[4等級]

横張り[通気留付金具]

防水紙: 透湿防水シート JIS A 6111

屋外側被覆材: 強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)

下張り 21mm以上 + 上張り 15mm以上

胴縁材: 鉄骨胴縁(C形鋼または角形鋼管)

断熱材: 吹付け硬質ウレタンフォーム

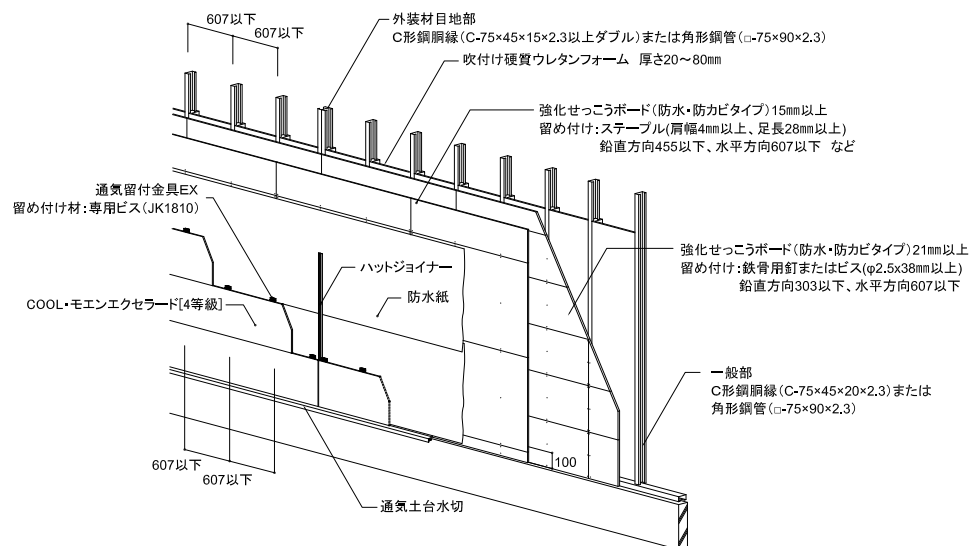
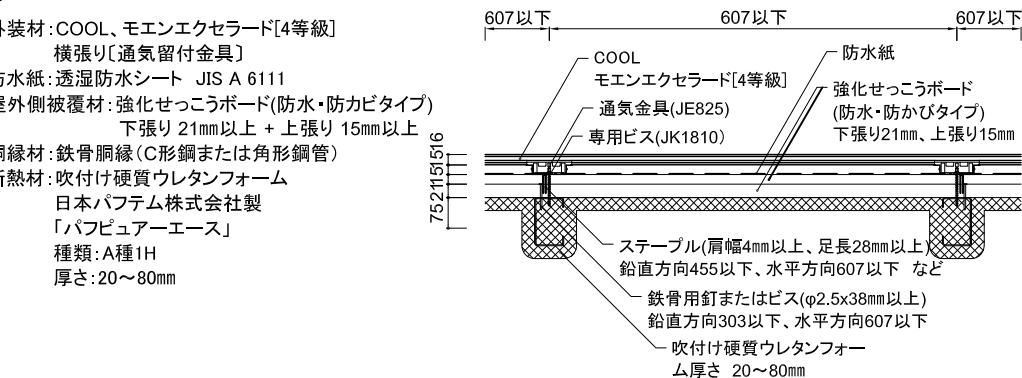
日本パフテム株式会社製

「パフピューアーエース」

種類: A種IH

厚さ: 20~80mm

主要構成部材



下地組図(屋外側)

- 認定の規定上、下張りと上張りの強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)の目地はそろわないようにしてください。横目地は必ず100mm以上ずらしてください。

- 当仕様の合成柱・合成梁の認定はありません。